

令和8年度 学校経営方針

丹波篠山市立古市小学校

1 学校教育目標

ふるさとに愛着をもち、将来にわたって学び続ける児童の育成

2 古市6C

Challenge Communication Collaboration Critical Creative Congratulation

3 めざす児童像

- ・夢や目標を持ち、安心してチャレンジできる子
- ・互いを尊重し、人や社会とつながることができる子
- ・疑問を持ち、自分の学びを主体的に追求する子

4 子どもにつけたい力

- ・社会と関わり、よりよい人生を切り拓く力（学びに向かう力・人間性）
- ・何を理解し、何ができるか（知識・技能）
- ・理解したことをどう使うか（思考力・判断力・表現力）

5 めざす教師像

- ・安全・安心を最優先に考え、創造的に教育活動を組み立てる教師
- ・児童が自分の「学び方」を身につけられるよう導く教師
- ・児童の個性を尊重し、共感的理解に基づいて支援する教師

6 具体的な取組

（1）安全安心な学校づくりを基盤とした、人権教育・特別支援教育の推進

- ・定期的な安全点検と安全意識の向上を図り、事故防止に努める。
- ・危険予測・危険回避能力を育てる安全教育を全教育活動で推進する。
- ・多様な学習活動を通して人権感覚を育て、互いの個性を尊重する教育を行う。
- ・個別の教育支援計画・指導計画を作成するなど、全教職員で共通理解をもって特別支援教育を推進する。
- ・働きやすい職場づくりと業務改善を進め、教職員が安心して働ける環境を整える。
（「安全・安心」「特別支援教育」「働き方改革」）

（2）保護者・地域との連携を深め、ふるさと古市に根ざした「地域とともにある学校づくり」の創造

- ・学校運営協議会を基盤に、学校・家庭・地域が協働する学校運営を推進する。
- ・地域の人材・教材を活用した「ふるさと教育」を推進し、地域への誇りとつながりを育てる。

・学校園だより・学級通信・ホームページ等で積極的に情報発信し、信頼される学校づくりを進める。

(「地域とともにある学校」「地域の教育力の活用」)

(3) 夢や目標をもち、自立して未来に挑戦する児童の「生きる力」を育む

・自分の将来を描き、学ぶことや働くことの意義・役割等を理解させ、キャリアプランニング能力を育成するためのキャリア教育に取り組む。

・自然体験・社会体験・地域団体等との体験を充実させ、社会とのつながりを実感させる。

・グローバル化が進む社会において、発達段階に応じて、英語によるコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進を図る。

・自尊感情を高める道徳教育を充実させ、豊かな心を育む。

(「キャリア教育」「グローバル化への対応」「豊かな心の育成」)

(4) 確かな学力の育成をめざし、自ら学び自ら考える授業を創造する

・児童が主体的、対話的で深い学びができるよう学習指導を工夫し、将来にわたって自分の「学び方」を身につけた児童を育成する。

・集団学習・グループ学習・短時間学習など多様な学習形態を工夫し、対話による学びを深め、学ぶ喜びを味わわせる。

・予習・復習の工夫と家庭学習の定着を図り、学びの見通しをもつ児童を育てる。

(「確かな学力」「学び続ける力」)

(5) 児童の良さや可能性を引き出し、望ましい生活習慣の定着を図る

・共感的理解に基づく生徒指導を行い、児童の良さを伸ばす。

・あいさつ・言葉遣い・時間意識など基本的な生活習慣を、安全な学校生活の基盤として定着させる。

・児童会活動・学級活動で主体性を育て、安心して意見を出し合える集団をつくる。

・いじめはいつでもどこでも起こり得るものという認識に立ち、いじめの早期発見、早期解消に努めるとともに、いじめ問題を主体的に解決しようとする集団づくりに努める。

(6) 健康・体力づくりを推進し、心身ともに健やかな児童を育む

・体育授業や新体力テストを通して体力の状況を把握し、意欲的に体力向上に取り組む態度を育てる。

・心身の健康、感染症予防、食育、薬物乱用防止などの健康教育を推進する。

・健康診断の結果を保護者と共有し、早期治療につながる啓発を行う。

(「健やかな体」「健康教育の充実」)